

小山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	人間と科学ⅠⅠ（法学ⅠⅠ）	
科目基礎情報							
科目番号	0098		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	教科書は特に指定しない。参考書：野村豊弘『民法法入門 第8版』有斐閣、2019年。						
担当教員	岡田 一郎						
到達目標							
1. 新聞・TV等で報じられているニュースの内容や背景を理解し、それを他者に正しく説明することができる。 2. 民法法のあり方について自分なりの見解を述べるができる。 3. メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	新聞・TV等で報じられているニュースの内容や背景を理解し、それを他者に正しく説明することが充分にできる。		新聞・TV等で報じられているニュースの内容や背景を理解し、それを他者に正しく説明することができる。		新聞・TV等で報じられているニュースの内容や背景を理解し、それを他者に正しく説明することができない。		
評価項目2	民法法のあり方について自分なりの見解を述べるが充分にできる。		民法法のあり方について自分なりの見解を述べるができる。		民法法のあり方について自分なりの見解を述べるができない。		
評価項目3	メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することが充分にできる。		メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することができる。		メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ① JABEE (D)							
教育方法等							
概要	民法法のあり方に関する考察と、メディアリテラシーを踏まえた情報の取捨選択のトレーニングに主眼をおく。						
授業の進め方・方法	3つの到達目標について、定期試験と授業中の発言や報告によって総合的に判断し、60%以上の成績で達成とする。定期試験70%、授業中の発言や報告30%。						
注意点	特になし。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1. 民法法とは何か		左記内容を理解する		
		2週	2. 民法と民法典		左記内容を理解する		
		3週	3. 権利と義務		左記内容を理解する		
		4週	4. 法律行為		左記内容を理解する		
		5週	5. 代理		左記内容を理解する		
		6週	6. 時効		左記内容を理解する		
		7週	7. 契約		左記内容を理解する		
		8週	8. 所有権		左記内容を理解する		
	4thQ	9週	9. 不法行為		左記内容を理解する		
		10週	10. 事務管理・不当利得		左記内容を理解する		
		11週	11. 債務の弁済		左記内容を理解する		
		12週	12. 家族		左記内容を理解する		
		13週	13. 親子・扶養		左記内容を理解する		
		14週	14. 相続		左記内容を理解する		
		15週	15. 団体		左記内容を理解する		
		16週	16. 定期試験		左記内容を理解する		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0